

コロナワクチン秋接種への疑問

つばさクリニック 石川 亨

政府はこの秋にコロナワクチンの定期接種を予定している。65歳以上の高齢者、60～64歳の基礎疾患のある人を対象として、今後は毎年1回接種させる意向のようである。しかし、過去4年余りの経験を踏まえると、その意義には大いに疑問があると言わざるを得ず、今後の医師会としての対応も慎重に検討する必要があると思われる。

コロナは脅威か

オミクロン株以降のコロナ感染症は重症化例は極めて少なく、とりわけ現在の感染例は従来の風邪と同じレベルである。高齢者、基礎疾患持ちの人も同様に重症化例は極めて少数である、というのが偽らざる実感である。

一方、小生が嘱託医を務める特別養護老人ホームにおいて、本年5月下旬から6月上旬にかけてコロナ感染が流行し、定員120名のうち21名が感染した。全員対症療法にて経過観察、17名が回復、4名が亡くなられた。

高齢者施設におけるこのような事例からコロナ感染を脅威としてとらえる論調も散見されるが、元来衰弱の激しい人はコロナ感染以外のわずかなアクシデントがきっかけで命を失うことも多々あるというのも事実である。

ワクチンの効果

デルタ株に関してはワクチン効果ありとする論文と効果なしとする論文が混在しているように思う。しかし、オミクロン株以降、すなわち3回目以降の効果を立てる論文は見当たらず、4回目以降は厚労省がHersysの登録を中止した影響もあり、正確な評価は不可能な状態である。接種目的も当初の「感染予防」から「重症化予防」、「後遺症軽減」と変化し、最近では「抗体価の上昇」という机上のデータだけを謳うような始末である。

レプリコンワクチン

この秋からの使用が予測されるレプリコンワクチンと呼ばれる、長期にわたってスパイク蛋白を増殖させるという、未曾有のワクチンに至っては実験用サルの価格高騰のあおりを受けて、本来行うべき霊長類での治験がスキップされているのである。サルを差し置いて日本人が霊長類代表として選ばれる、これが政府が目指す「治験大国」の実態である。

ワクチンの弊害

これは周知のとおり、報告例だけでも2,000例を超える死亡例があり、心筋症、血栓症等の多彩な副作用は3万例を超えている。特筆すべきはこれらはいくまでも氷山の一角、ということで、実際にはこの10倍以上の被害が生じていると言われている。

超過死亡

ワクチン接種が始まった2021年以降、超過死亡者数は年々増加しており、昨年は21万5千人、3年間の累計では36万人を超えている。その原因として、厚労省は「高齢化」、「過度なコロナ対策」等の可能性を指摘しているが、いずれも説得力はない。しかしながら厚労省は詳細な調査は行うつもりはなく、ワクチン接種との関連には敢えて目を瞑り、「ワクチン接種に関しては重大な懸念事項は見当たらない」と豪語し、今後もワクチン接種に盲進する所存のようである。

言論統制

ワクチンの有効性、必要性に関する情報は積極的に報道されるが、副作用、危険性に関する情報は極めて稀にしか報道されない。NHKはワクチン接種後の死亡をコロナウィルス感染による死亡と誤解させる報道をする有様で、大手メディアの偏向報道は目を覆うものがある。また、you tube等の動画サイトではコロナワクチンを批判する動画の削除が相次ぎ、配信に際してはワクチンという言葉を使わないとか、ミュートにするといった対策が行われている、ということも自由主義国家とは思えない状況である。もちろん、このような行為は一企業の判断でできるはずもなく、大きな力が作用しているのは疑う余地がない。彼らにとってはワクチン副作用の真実というのはとてつもなく「不都合な真実」なのである。

その昔、地動説が正しいことを主張したガリレオを裁いた人々はガリレオの望遠鏡を覗いたのだろうか？何者かに憑りつかれたように、頑なにワクチン接種を推進する人たちは彼らと同じ轍を踏んでいるのである。

全国有志医師の会、ワクチン問題研究会

2022年2月、新型コロナウイルス感染症に対する対策の見直しと、国民の安全と健康を守るため、治験段階のワクチン接種事業の中止を求める医師および医療従事者が「全国有志医師の会」を立ち上げた。また2023年6月、ワクチン接種による遷延する副作用に苦しまれるワクチン接種健康被害者に適切な医療を提供すべく、ワクチン問題研究会が設立された。両団体は、コロナワクチンの危険性、副作用対策等の研究という、本来は国が行うべき事業を行っている。両団体は国の補助金も、製薬会社等の支援も一切ない中、いわゆる手弁当で活動している。会員の先生方にはガリレオの望遠鏡を覗くつもりで、まずはホームページをご覧ください。

全国有志医師の会 <https://vmed.jp/>

ワクチン問題研究会 <https://jsvrc.jp/>

SHEEPL

SHEEPLというのは、SHEEP（羊）と、PEOPLE（人々）を合わせた造語であり、羊のように群れをなし、自分の意見を持たずに大勢に流される人々のことを指

す言葉である。

医学知識に乏しい一般の人は致し方ないとしても、自ら積極的に情報が得られる我々医師がSHEEPLEになり下がるのは恥ずべきことである。会員の先生方には、秋以降のコロナワクチン接種に関して、「ドクター」が「毒ター」にならないよう、賢明な判断をしていただくことを切に願うものである。

参考図書

- 人類を裏切った男（原題 Real Anthony Fauci）ロバート・F・ケネディJr.著
303の文献から判明したパンデミック13のひみつ ロバート・F・ケネディJr.著
コロナワクチンその不都合な真実 アレクサンドラ・アンリオン・コード著
検証・コロナワクチン；実際の効果、副反応、そして超過死亡 小島勢二著
コロナワクチン 光と影 大石邦彦著
コロナワクチン 影の輪郭 大石邦彦著